

みずほCustomer Desk Report 2021/10/06号(As of 2021/10/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.94
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.96	1.1617	128.90	1.3609	0.7290
SYD-NY High	111.56	1.1621	129.36	1.3647	0.7301
SYD-NY Low	110.88	1.1581	128.78	1.3586	0.7250
NY 5:00 PM	111.48	1.1597	129.29	1.3622	0.7291
NY DOW	34,314.67	311.75	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	14,433.83	178.34	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	4,345.72	45.26	米国2年債	0.2846	0.60bp
日経平均	27,822.12	▲ 622.77	米国5年債	0.9756	3.07bp
TOPIX	1,947.75	▲ 26.17	米国10年債	1.5267	4.69bp
シカゴ日経先物	28,215.00	280.00	独10年債	-0.1895	2.85bp
ロンドンFT	7,077.10	66.09	英10年債	1.0835	7.75bp
DAX	15,194.49	157.94	豪10年債	1.5150	2.20bp
ハンセン指数	24,104.15	67.78	USDJPY 1M Vol	5.95	0.00%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.91	0.04%
NY金	1,760.90	▲ 6.70	USDJPY 6M Vol	6.10	0.04%
WTI	78.93	1.31	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
CRB指数	235.793	2.71	EURJPY 3M Vol	6.02	▲0.06%
ドルインデックス	93.98	0.20	EURJPY 6M Vol	6.26	▲0.07%

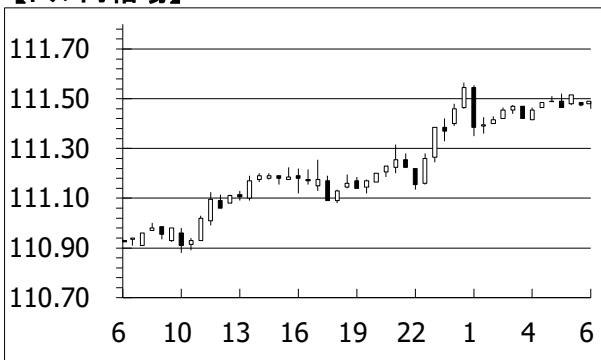
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月5日	09:30	豪 貿易収支	8月 A\$15077m	A\$10100m
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	-	0.1%
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 56.2/55.5	56.0/55.3
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 1.1%/13.4%	1.3%/13.5%
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$73.3b	-\$70.8b
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 54.9/55.0	54.4/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 64.9	59.9

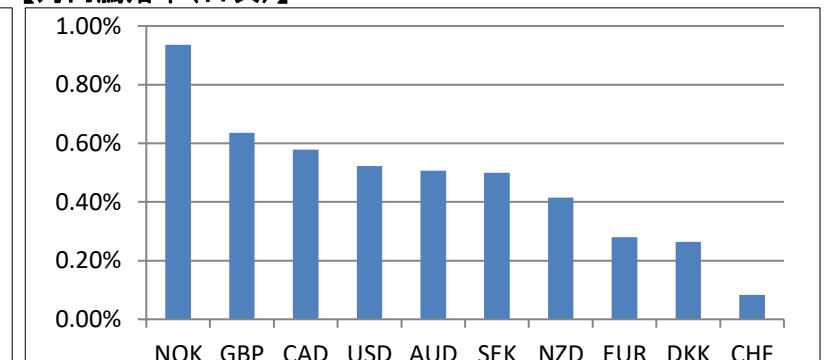
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	8月 -2.2%	3.4%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 0.8%	-2.3%
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 430k	374k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.00	1.1560-1.1650	128.70-129.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動きとなった。原油高を受けたインフレ懸念により、1.4%台で推移していた米10年債利回りが1.53%台まで上昇、ドル買いの動きに繋がった。発表された米9月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったこともドルの追い風となり、ドル/円は111.56円まで上昇、その後戻り売りが入ったものの底堅さを保ち、東京時間早朝にかけても111円台半ばでの値動きとなっている。本日のドル/円は底堅い展開を予想。米経済指標の結果が良好だったこと等から米長期金利が上昇、米株も上げ幅を拡大しており、日経平均も堅調な動きが予想される。特に米10年債利回りが1.5%台を回復したことはドル/円の強力なサポート要因となりそう。しかし、112円台が近づくと売り圧力が強まることも想定される為、上値は限定的か。

東京	東京時間のドル円は110.96レベルでオープン。日経平均が下げ幅を拡大したことにより円買いが強まり、オープンからほどなくして110.88まで下落。ただその後は、日経平均株価が下げ止まったことや、米長期金利が小幅に上昇したことを受けて、ドル円もじりじりと上昇。111.22まで上値を伸ばし、111.18レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.18レベルでオープン。方向感のない展開だった。欧州株が堅調に推移したことで若干円安の111.22レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3591レベルでオープン。先週の大幅下落からの反発が続くポンドは本日も堅調。一時1.3642まで買い戻され結局1.3619レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は111円手前でスタート。マイナス圏でスタートした日経平均株価が重しとなり、110.88まで下押しする場面もあったが、その後は日本株の下げ幅縮小や米金利がじわじわと上昇する動きがドル円の買いをサポートし、111.31まで上昇後、111.22レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の上昇が加速する中、ドル買いもあわせて強まった。米9月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったことや、米株が買われ前日の下落分をほぼ取り戻す動きを見せる中、一時111.56まで上昇。買い一巡後、111.35まで反落。午後は米金利上昇が一服するも、1.53%台を維持する中、ドル円も高値圏で底堅く推移。終盤は小動きとなり、111.48レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.16台前半でスタート。米金利上昇でドル買い優勢となったことから1.1590までじりじりと下落。その後は1.1600を挟んだ狭いレンジでもみ合いとなり、1.1599レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、1.1581まで反落するも、その後は米株の堅調推移を好感し上昇したユーロ円に連れ高となり、1.1613まで反発。午後は米金利が高水準を維持する中、再びドル買い優勢と流れとなる。1.1594までじりじりと下落し、1.1597レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・大谷